



基本操作

1) 新規ファイルを開く	1
2) 既存ファイルを開く	1
3) スケール合わせ	1
4) ファイルの保存	2
5) ファイルの印刷	2
6) ファイルの切替え	2

基本作図パターン

1) 線の作図	3
2) 補助線の作図	3
3) 連続線の作図	3
4) 平行線の作図	4
5) 拡大表示・縮小表示	4
6) 座標の入力	4
7) 矩形の作図	5
8) 円の作図	5
9) 距離の計測	5
10) 寸法線の作図	6
11) 連続寸法線の作図	6
12) 文字の作図	7
13) ラベルの作図	7
14) バルーンの作図	8
15) 回路記号の作図	8
16) ワープ	8

基本編集パターン

1) コマンドキャンセル・ピックキャンセル	9
2) 領域選択	9
3) コントロールポイント	9
4) 色・線種・線幅の変更	10
5) 移動・複写	10
6) 伸縮	10
7) 寸法線の修正	11
8) 文字の修正	11
9) 図形の削除	11
10) ファイル間コピー	12

基本設定

1) 画面色の設定	13
2) ガイダンス表示位置の変更	13
3) 図形選択色の設定	14
4) マウスホイールの設定	14
5) カーソルの設定	15
6) 確定の設定	15
7) デフォルト登録	16

基本操作

1) 新規ファイルを開く

- ① [ファイル]-[新規作成]
([ホーム]-[新規作成])
- ② [種類]から用紙サイズを選択
- ③ [作図スケール]にスケールをキー入力
- ④ <OK>ボタンをクリック



2) 既存ファイルを開く

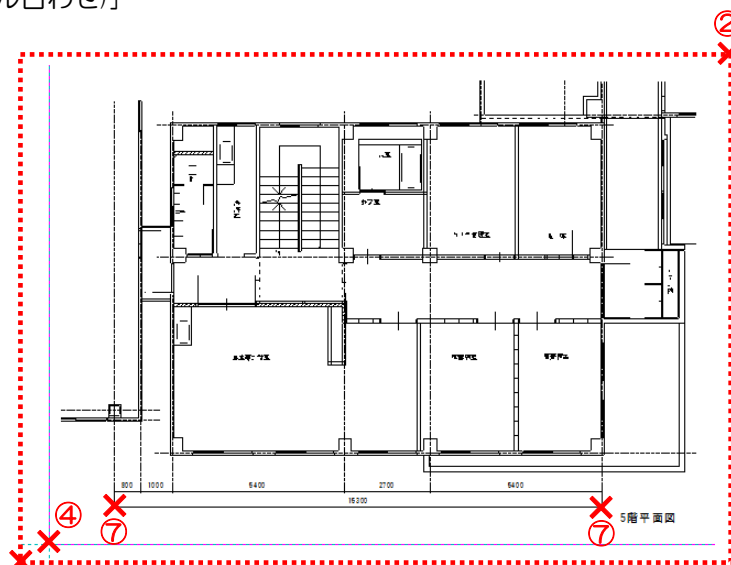
- ① [ファイル]-[開く]
([ホーム]-[開く])
- ② ファイルを保存してあるフォルダを選択
- ③ ファイル名を選択
- ④ <開く>ボタンをクリック



3) スケール合わせ

開いたファイルの寸法値と実際の長さが違う場合は「スケール合わせ」の操作を行います。

- ① [基本作図]-[伸縮]-[図形拡大・縮小(スケール合わせ)]
([ホーム]-[スケール合わせ])
- ② 図面全体を選択
- ③ 右クリックで確定
- ④ 基点をクリック
- ⑤ 「距離で拡大率を自動計算」にチェック
- ⑥ [拡大前距離]の<距離参照>ボタンをクリック
- ⑦ 寸法線の2点をクリック
- ⑧ [拡大後の距離]に寸法線の値をキー入力
- ⑨ <OK>ボタンをクリック



4) ファイルの保存

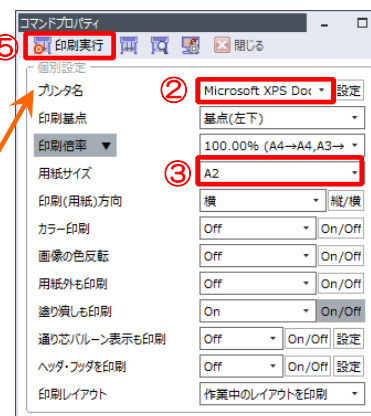
- ① [ファイル]-[名前を付けて保存]
([ホーム]-[名前を付けて保存])
- ② 保存するフォルダを選択
- ③ [ファイル名]にファイル名をキー入力
- ④ <保存>ボタンをクリック



他の形式でファイルを保存したいときは、「ファイルの種類」から保存形式を選択します。

5) ファイルの印刷

- ① [ファイル]-[印刷]
([ホーム]-[印刷])
- ② [プリンタ名]から印刷するプリンタを選択
- ③ [用紙サイズ]から用紙の種類を選択
- ④ 用紙枠以外を印刷する場合は印刷する範囲でクリック
- ⑤ <印刷実行>ボタンをクリック



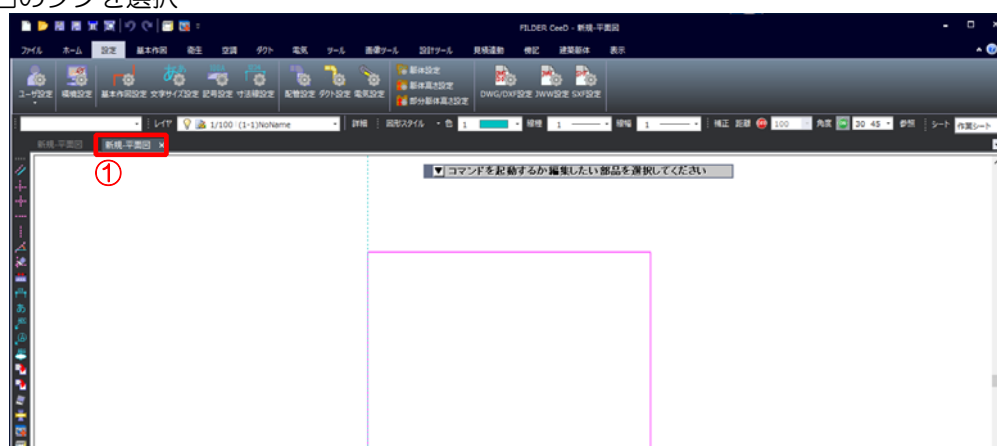
PDFでファイルを保存したいときは、[プリンタ名]からPDF変換ソフトを選択します。
PDF変換ソフトを事前にインストールしてください。

6) ファイルの切替え

ファイルを複数開いている場合に、切替えて操作します。

[Ctrl]キー+[Tab]キーでも切替え可能です。

- ① 開きたいファイル名のタブを選択

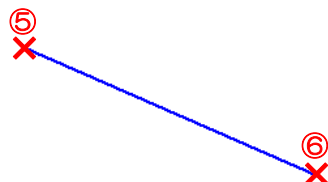


基本作図パターン

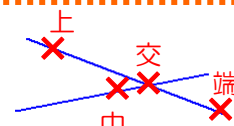
1) 線の作図

- ① [基本作図]-[線]
- ② [色]から線の色を選択
- ③ [線種]から線の種類を選択
- ④ [線幅]から線の幅を選択
- ⑤ 始点をクリック
- ⑥ 終点をクリック

「角度補正」を「ON」にすると数値が入ります。
これは、この数値の角度で補正するという意味ですので<OFF>ボタンをクリックして<ON>に切替えることで水平・垂直などの線を描くことができます。

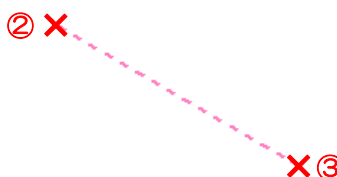


作図時または編集時にカーソルを図形に近づけると「交」「端」などの文字が表示されます。それらが表示されているときに左クリックすることで、図形の交点や端点などを正確に指示することができます。



2) 補助線の作図

- ① [基本作図]-[補助平行線]-[補助線]
 ([ホーム]-[補助平行線]-[補助線])
 ([衛生]-[補助平行線]-[補助線])
 ([空調]-[補助平行線]-[補助線])
 ([ダクト]-[補助平行線]-[補助線])
 ([電気]-[補助平行線]-[補助線])
 ([ツール]-[補助平行線]-[補助線])
 ([画像ツール]-[補助平行線]-[補助線])
 ([傍記]-[補助平行線]-[補助線])
 ([建築躯体]-[補助平行線]-[補助線])
- ② 始点をクリック
- ③ 終点をクリック

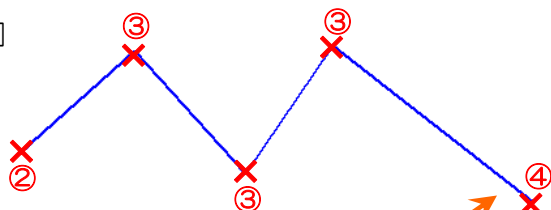


補助線は印刷されない線です。
機器や配管を配置するための目安として使用します。

補助線と基本図形は、一緒に編集の操作ができません。
例えば補助線を移動する場合は、[移動]コマンドを実行し「補助線含む」を「On」にします。

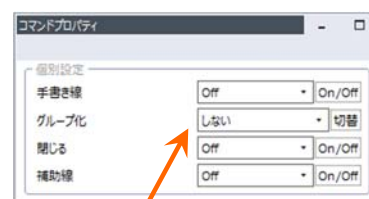
3) 連続線の作図

- ① [基本作図]-[連続線]
- ② 始点をクリック
- ③ 通過点をクリック
- ④ 終点をクリック
- ⑤ 右クリックで確定



右クリックすることで、連続線作図が確定されます。
終点の端点を再度クリックで確定も可能です。

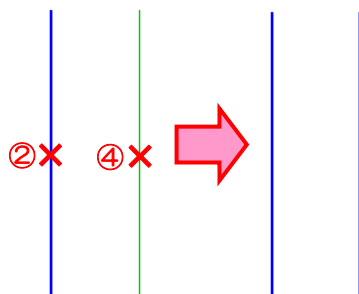
「グループ化」を「する」に切替えると連続線が1つのグループとなり、移動などの操作が簡単になります。



一つ前の状態に戻る場合は[取り消し]ボタン () をクリックします。
戻りすぎてしまった場合は[進む]ボタン () をクリックします。
[Ctrl]キー+[Z]キー、または[BackSpace]キーでも一つ前の状態に戻せます。

4) 平行線の作図

- ① [基本作図]-[平行線]
- ② 基準線をクリック
- ③ 距離をキー入力
※ 「距離」に自動的に数値が入力される
- ④ 配置方向でクリック

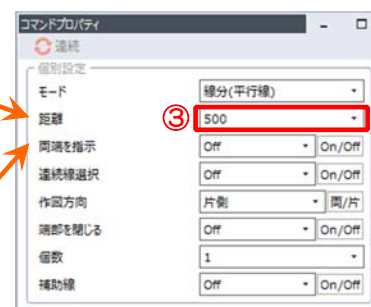


カーソルを「距離」の欄に合せなくても、数値は自動的に入力されます。

基準線と違う長さにする場合は「両端を指示」を「On」にします。

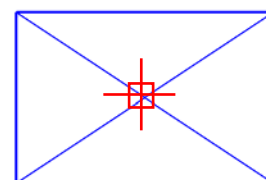
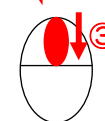
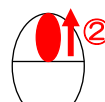
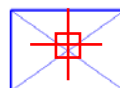
④の操作後右クリックで同じ方向に同じ距離で繰り返し平行線を作成できます。

平行線を補助線で作図する場合は、[補助平行線]コマンドを実行します。



5) 拡大表示・縮小表示

- ① 拡大する中心に十字カーソルを移動
- ② マウスホイールを前に回転（拡大）
- ③ マウスホイールを後ろに回転（縮小）



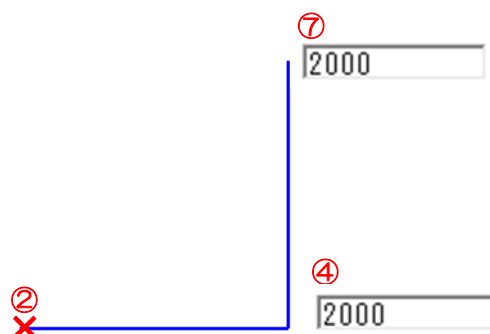
マウスホイールを押し続けると、画面を自由に移動できます。

[Home]キーで作業領域全体が見えるように表示し、[End]キーで用紙の目安全体が見えるように表示します。

マウスホイールの回転では、カーソル位置を画面の中心に移動し、拡大縮小ができます。
[Shift]キー+[Ctrl]キー+マウスホイールの回転で現在のカーソルの位置で拡大縮小ができます。

6) 座標の入力

- ① [基本作図]-[連続線]
- ② 始点をクリック
- ③ カーソルを右方向へ移動
- ④ 次の位置（距離）をキー入力
- ⑤ [Enter]キーを押す
- ⑥ カーソルを上方向へ移動
- ⑦ 次の位置（距離）をキー入力
- ⑧ [Enter]キーを押す
- ⑨ [Enter]キーを押す

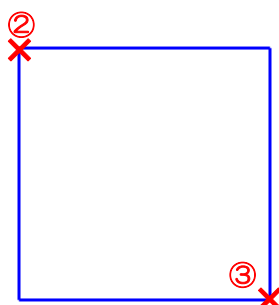


操作手順⑨の[Enter]キーは「確定」となります。

キーボードから距離を入力した時のカーソル位置によって方向を指定します。
入力した数値は「X,Y」ではなく、そのままの距離と考えると、この時、角度補正が「ON」の場合は、その角度で方向を決定します。角度補正が「OFF」の場合は、90°単位で方向を決定します。
縦横の数値を入れる場合は「X,Y」と入力します。「,」は「.」でも入力可能です。

7) 矩形の作図

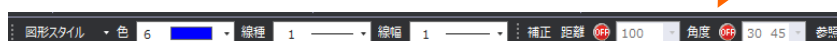
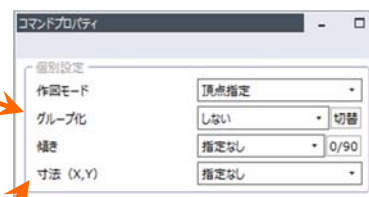
- ① [基本作図]-[矩形]
- ② 頂点をクリック
- ③ 対角の頂点をクリック



「グループ化」を「する」に切替えると矩形が1つのグループとなり、移動などの操作が簡単になります。

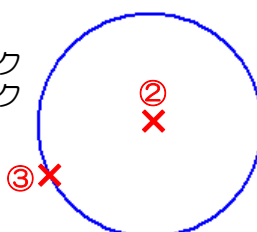
矩形の大きさは[寸法(X,Y)]で指定できますが、基点をクリックして縦横の寸法を座標入力することで大きさを指定することも可能です。

角度補正が「ON」になっていると自由な矩形を作図することができなくなります。カーソルを自由に動かす場合は角度補正を「OFF」にします。



8) 円の作図

- ① [基本作図]-[円]
- ② 中心点をクリック
- ③ 円周上をクリック



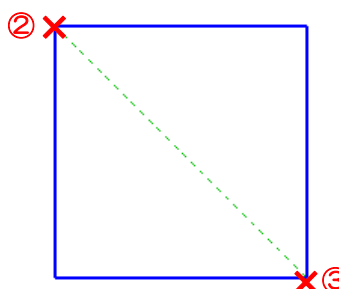
円の大きさは[半径(直径)]で指定できますが、中心をクリックして半径を座標入力することで大きさを指定することも可能です。



作図時または編集時に円の中心にカーソルを近づけると「中心」と文字が表示されます。表示されているときに左クリックすることで、円の中心を正確に指示することができます。

9) 距離の計測

- ① [基本作図]-[2点間距離]
 - ([ホーム]-[2点間距離])
 - ([衛生]-[2点間距離])
 - ([空調]-[2点間距離])
 - ([ダクト]-[2点間距離])
 - ([電気]-[2点間距離])
 - ([ツール]-[2点間距離])
 - ([画像ツール]-[2点間距離])
 - ([設計ツール]-[2点間距離])
 - ([傍記]-[2点間距離])
 - ([建築躯体]-[2点間距離])
- ② 始点をクリック
- ③ 終点をクリック
- ④ 距離を確認し<OK>ボタンをクリック



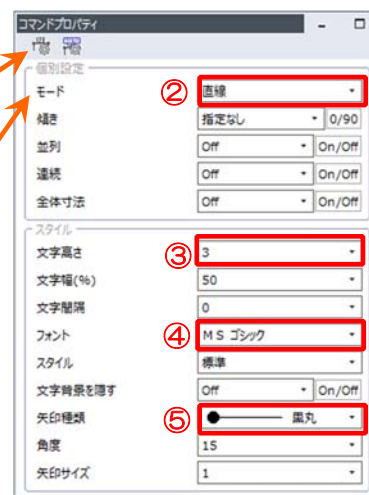
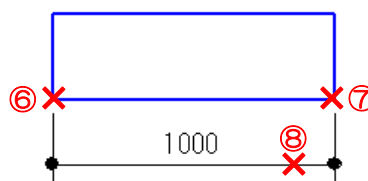
「ΔX」は指示した2点間のX軸方向(横方向)の距離を表示します。
「ΔY」は指示した2点間のY軸方向(縦方向)の距離を表示します。

10) 寸法線の作図

- ① [基本作図]-[寸法線]
 ([衛生]-[寸法線])
 ([空調]-[寸法線])
 ([ダクト]-[寸法線])
 ([電気]-[寸法線])
 ([傍記]-[寸法線])
 ([建築躯体]-[寸法線])
- ② [モード]から「直線」を選択
- ③ [文字高さ]に文字の大きさをキー入力
- ④ [フォント]から文字フォントを選択
- ⑤ [矢印種類]から矢印の形を選択
- ⑥ 始点をクリック
- ⑦ 終点をクリック
- ⑧ 配置位置をクリック

「寸法線設定」ボタンをクリックすると寸法線設定ダイアログが表示され、寸法線についての詳細な設定が行えます。

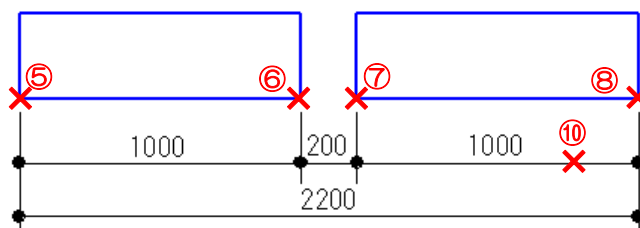
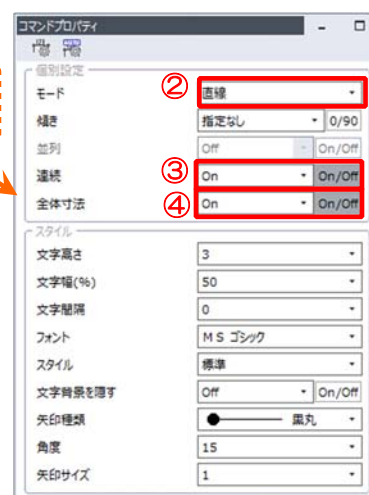
ななめの寸法線を配置する場合は[モード]から「2点間」を選択します。



11) 連続寸法線の作図

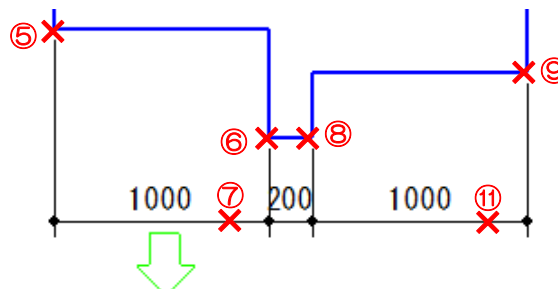
- ① [基本作図]-[寸法線]
 ([衛生]-[寸法線])
 ([空調]-[寸法線])
 ([ダクト]-[寸法線])
 ([電気]-[寸法線])
 ([傍記]-[寸法線])
 ([建築躯体]-[寸法線])
- ② [モード]から「直線」を選択
- ③ [連続]を「On」に設定
- ④ [全体寸法]を「On」に設定
- ⑤ 始点をクリック
- ⑥ 次点をクリック
- ⑦ 次点をクリック
- ⑧ 終点をクリック
- ⑨ 右クリックで確定
- ⑩ 配置位置をクリック

連続の寸法線だけの場合は[全体寸法]を「Off」に設定します。



補助線1の基点(⑤)と補助線2の基点(⑥)が、水平または垂直以外の場合は、⑤からの操作手順が異なります。

- ⑤ 始点をクリック
- ⑥ 次点をクリック
- ⑦ 表示方向の矢印を確認してクリック
- ⑧ 次点をクリック
- ⑨ 終点をクリック
- ⑩ 右クリックで確定
- ⑪ 配置位置をクリック



1 2) 文字の作図

- ① [基本作図]-[文字]
 ([衛生]-[文字])
 ([空調]-[文字])
 ([ダクト]-[文字])
 ([電気]-[文字])
 ([傍記]-[文字])
- ② [文字高さ]に文字の大きさをキー入力
- ③ [フォント]から文字フォントを選択
- ④ 文字をキー入力
- ⑤ 配置位置をクリック

[縦書き]を「On」に設定すると縦書きの文字を配置します。
 この時、括弧「」やマイナスの文字などが縦書きにならない場合は[フォント]から「@」のついたフォントを選択します。

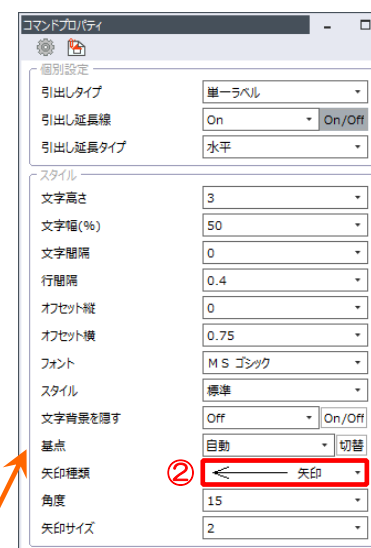


⑤ × FILDER CeeD

1 3) ラベルの作図

- ① [基本作図]-[文字]-[ラベル]
 ([衛生]-[文字]-[ラベル])
 ([空調]-[文字]-[ラベル])
 ([ダクト]-[文字]-[ラベル])
 ([電気]-[文字]-[ラベル])
 ([傍記]-[ラベル])
- ② [矢印種類]から矢印の形を選択
- ③ 文字をキー入力
- ④ 矢印の先端をクリック
- ⑤ 文字の配置位置をクリック
- ⑥ 配置方向をクリック

FILDER CeeD



「基点」からラベルの表示基点を選択できます。

FILDER CeeD

FILDER CeeD

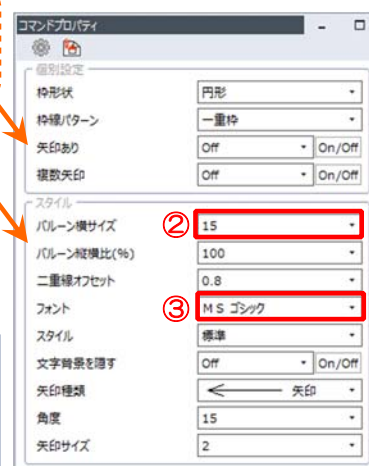
1 4) バルーンの作図

- ① [基本作図]-[文字]-[バルーン]
 ([衛生]-[文字]-[バルーン])
 ([空調]-[文字]-[バルーン])
 ([ダクト]-[文字]-[バルーン])
 ([電気]-[文字]-[バルーン])
 ([傍記]-[ラベル]-[バルーン])
- ② [バルーン横サイズ]に大きさをキー入力
- ③ [フォント]から文字フォントを選択
- ④ 文字をキー入力
- ⑤ 配置位置をクリック



[矢印あり]を「On」に設定すると、バルーンに矢印をつけることができます。

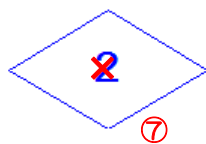
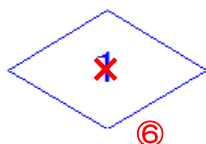
[バルーン縦横比(%)]を「70」など「100」以下に設定すると、バルーンの形が楕円形に変形します。



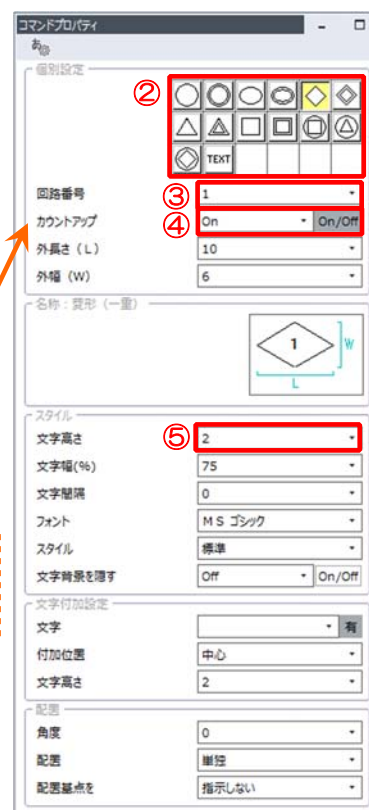
「改行」ボタンをクリック、または「,(半角カンマ)」をキー入力すると、バルーンが2段の表示になります。バルーンは3段まで表示可能です。

1 5) 回路記号の作図

- ① [傍記]-[回路記号]
 ([電気]-[回路記号])
- ② [個別設定]から回路記号の種類を選択
- ③ [回路番号]に最初の文字をキー入力
- ④ [カウントアップ]を「On」に設定
- ⑤ [文字高さ]に文字の大きさをキー入力
- ⑥ 配置位置をクリック
- ⑦ 次の配置位置をクリック (文字は自動的にカウントアップ)



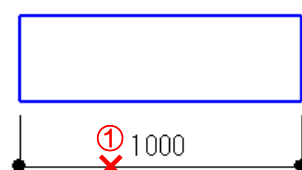
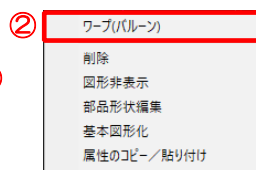
[カウントアップ]を「On」に設定することで[回路番号]に「1」と入力すると「1」「2」「3」と、「A」と入力すると「A」「B」「C」と、「I」と入力すると「I」「ロ」「ハ」とカウントアップします。



1 6) ワープ

図面内の図形と同じコマンド、属性 (色、線種、線幅、レイヤ) ですぐに作図ができます。

- ① 作図したい図形上にカーソルを移動
- ② 右クリック[ワープ]
- ③ コマンドが実行され作図可能となる

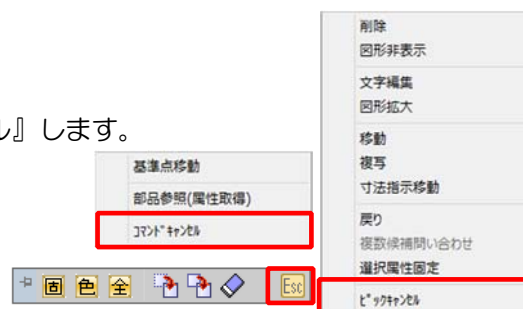


基本編集パターン

1) コマンドキャンセル・ピックキャンセル

編集を実行する前に『コマンドキャンセル』します。
また、編集後図形の選択を解除する場合は『ピックキャンセル』します。
次の中から操作します。

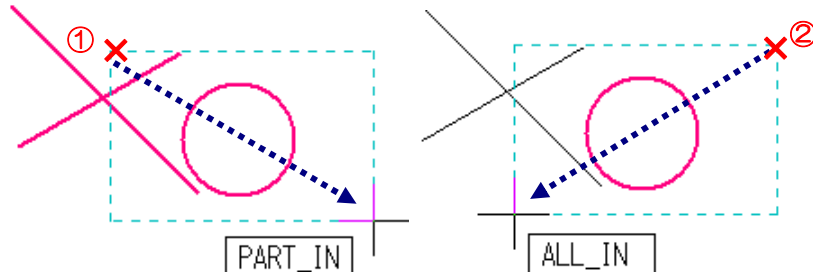
- [Esc]キーを押す
- 右クリックしてショートカットから「コマンドキャンセル」(または「ピックキャンセル」)を選択
- マウスホイールを押す
- ミニツールバーの<ESC>ボタンをクリック



平行線、補助平行線コマンドを実行した場合、右クリックで「連続」の動作となります。[ESC]キーを押すか、マウスホイールを押してコマンドキャンセルしてください。

2) 領域選択

- ① 左から右に選択すると、指示した領域に一部でも図形が入っていれば選択可能
- ② 右から左に選択すると、指示した領域内に図形全体が入っていれば選択可能

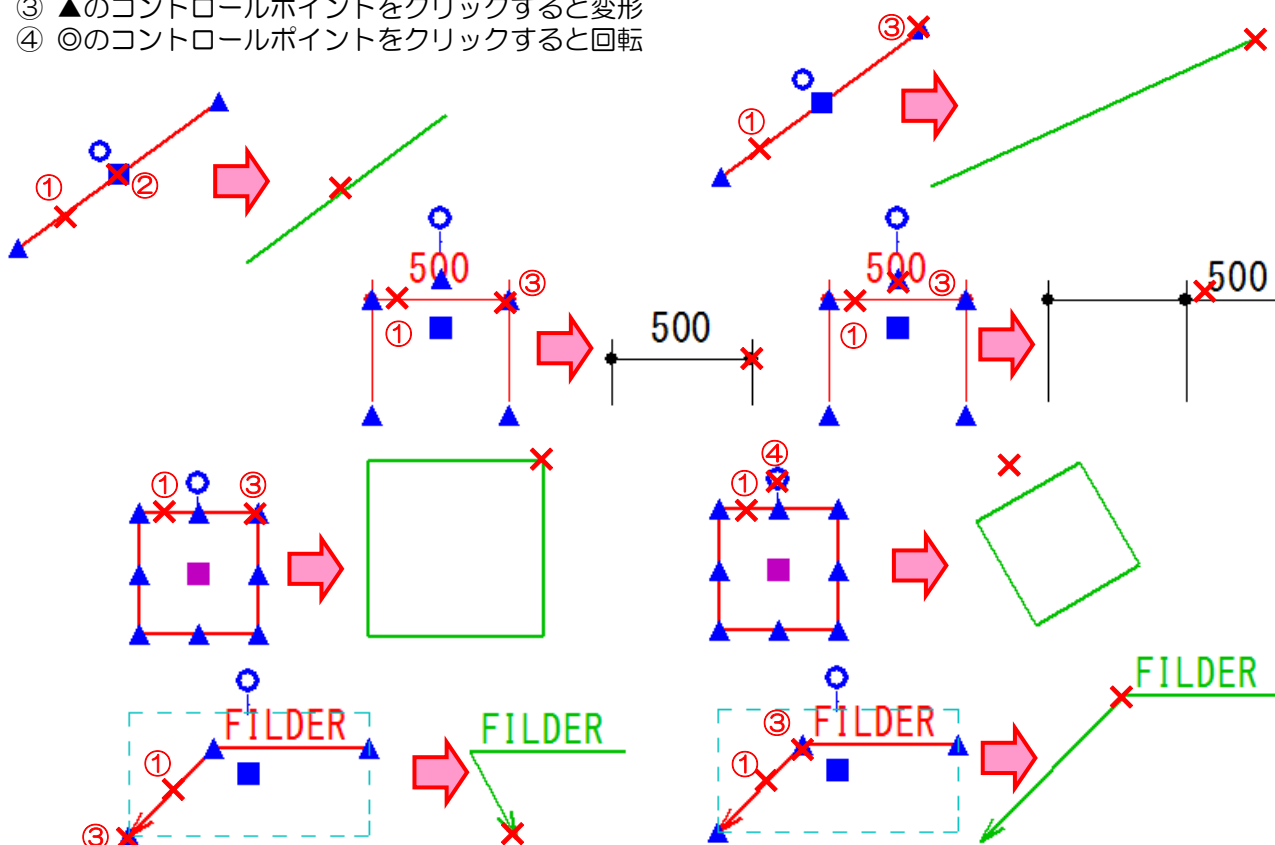


画面下側の「選択種類」が「単独」となっている場合は、領域選択できません。「単独」をクリックし、「自動-PART_IN」を選択します。

図形を選択しすぎた場合は、[Shift]キーを押しながら、選択されている図形をクリックすると、選択の解除ができます。

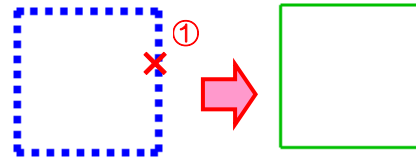
3) コントロールポイント

- ① コマンドキャンセルの状態で図形をクリック
- ② ■のコントロールポイントをクリックすると移動
- ③ ▲のコントロールポイントをクリックすると変形
- ④ ◎のコントロールポイントをクリックすると回転



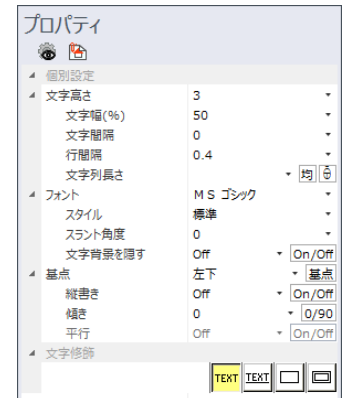
4) 色・線種・線幅の変更

- ① コマンドキャンセルの状態に変更する図形をクリック
- ② [色]から線の色を選択
- ③ [線種]から線の種類を選択
- ④ [線幅]から線の幅を選択
- ⑤ ピックキャンセル



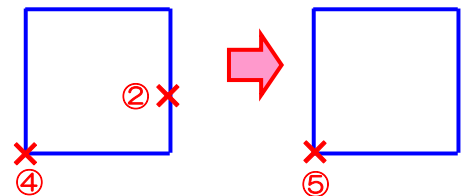
コマンドキャンセルの状態で図形をクリックすると、プロパティにその図形の詳細が表示されます。プロパティの内容を変更すると、簡単に図形の変更ができます。
例えば文字をクリックするとプロパティに[文字高さ]や[フォント]が表示され変更ができます。

FILDER CeeD



5) 移動・複写

- ① [基本作図]-[移動]、[複写]
([衛生]-[移動]、[複写])
([空調]-[移動]、[複写])
([ダクト]-[移動]、[複写])
([電気]-[移動]、[複写])
([建築躯体]-[移動]、[複写])
- ② 移動(複写)する図形をクリック
- ③ 右クリックで確定
- ④ 基点をクリック
- ⑤ 移動(複写)先でクリック



ミニツールバーを利用する場合は...

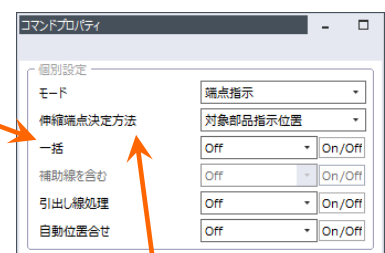
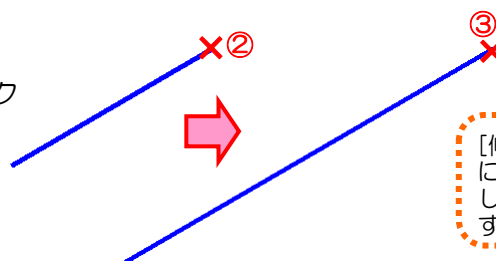
- ① コマンドキャンセルの状態で移動(複写)する図形をクリック
- ② ミニツールバーの<移動>(複写)ボタンをクリック
- ③ 基点をクリック
- ④ 移動(複写)先でクリック



6) 伸縮

- ① [基本作図]-[伸縮]
([衛生]-[伸縮])
([空調]-[伸縮])
([ダクト]-[伸縮])
([電気]-[伸縮])
([建築躯体]-[伸縮])
- ② 伸縮する側の端点をクリック
- ③ 伸縮先をクリック

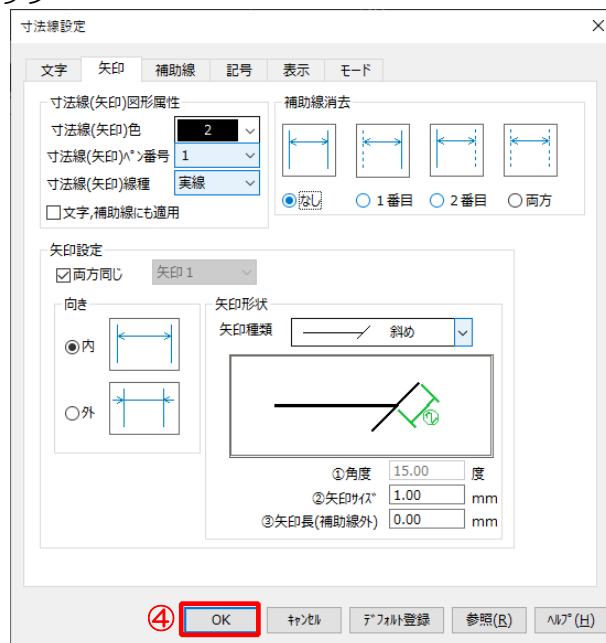
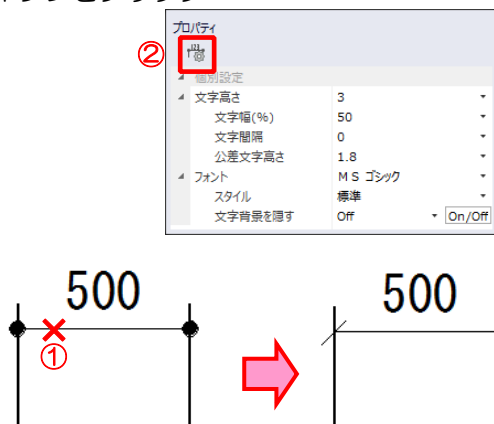
[一括]を「On」に設定すると複数図形を一括で伸縮できます。



[伸縮端点決定方法]を「伸縮先方向」に設定すると、伸縮先としてクリックした位置に近い方の端点を伸縮します。

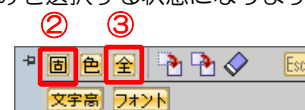
7) 寸法線の修正

- ① コマンドキャンセルの状態でも変更する寸法線をクリック
- ② <寸法線設定>ボタンをクリック
- ③ 設定内容を変更
- ④ <OK>ボタンをクリック



ミニツールバーの<固定>ボタンをクリックすると、同じ属性の図形のみを選択する状態になります。

- ① コマンドキャンセルの状態でも寸法線をクリック
 - ② ミニツールバーの<固定>ボタンをクリック
 - ③ ミニツールバーの<全選>ボタンをクリック
- 図面内の全ての寸法線を選択することができます。



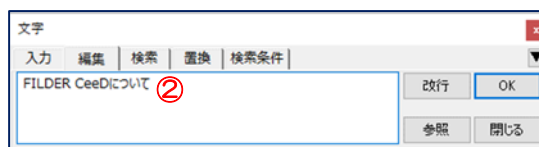
8) 文字の修正

- ① コマンドキャンセルの状態でも変更する文字をダブルクリック
- ② 文字を変更
- ③ [Enter]キーを押す

① * FILDER CeeD



FILDER CeeDについて



9) 図形の削除

- ① [基本作図]-[削除]
 - ([衛生]-[削除])
 - ([空調]-[削除])
 - ([ダクト]-[削除])
 - ([電気]-[削除])
 - ([建築躯体]-[削除])
- ② 削除する図形をクリック
- ③ 右クリックで確定



補助線と基本図形を一緒に削除する場合は、[補助線含む]を「On」に設定します。

ミニツールバーを利用する場合は...

- ① コマンドキャンセルの状態でも削除する図形をクリック
- ② ミニツールバーの<削除>ボタンをクリック

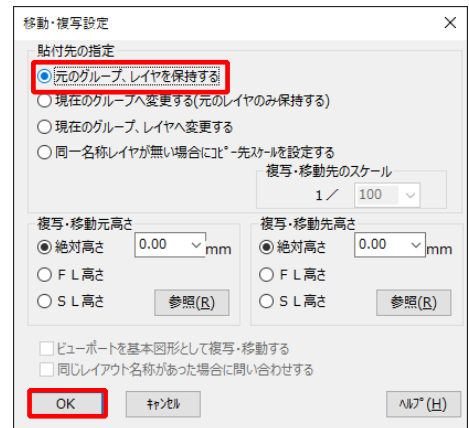


10) ファイル間コピー

- ① コピー元、コピー先ファイルを開く
- ② [基本作図]-[複写]
- ③ コピー元ファイルで複写する図形を選択
- ④ 右クリックで確定
- ⑤ 基点をクリック
- ⑥ コピー先ファイルで目標点をクリック



スケールが違うファイルの場合は、コピー先ファイルのスケールに合わせて複写します。
元のスケールのまま複写したい場合は、⑥の操作の前に<複写設定>ボタンをクリックし「元のグループ、レイヤを保持する」にチェックを入れます。

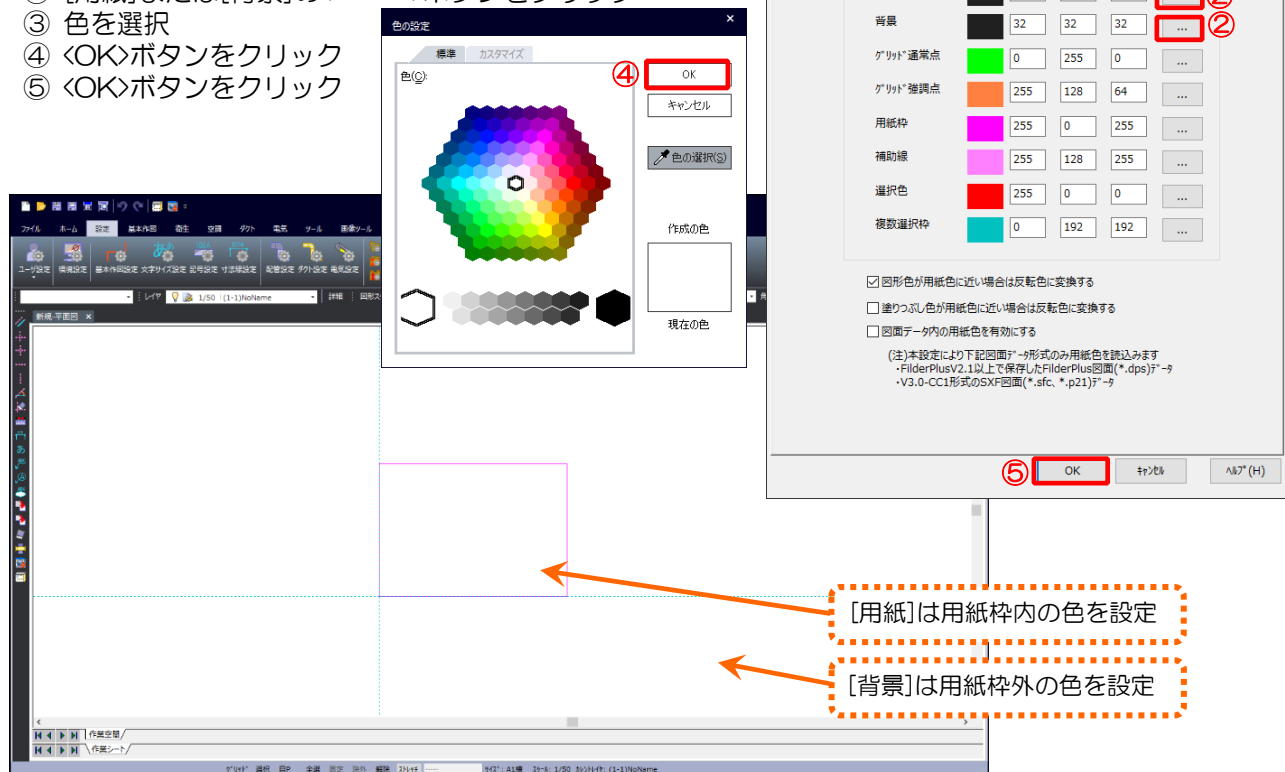


基本設定

1) 画面色の設定

用紙内の色と背景の色を設定します。

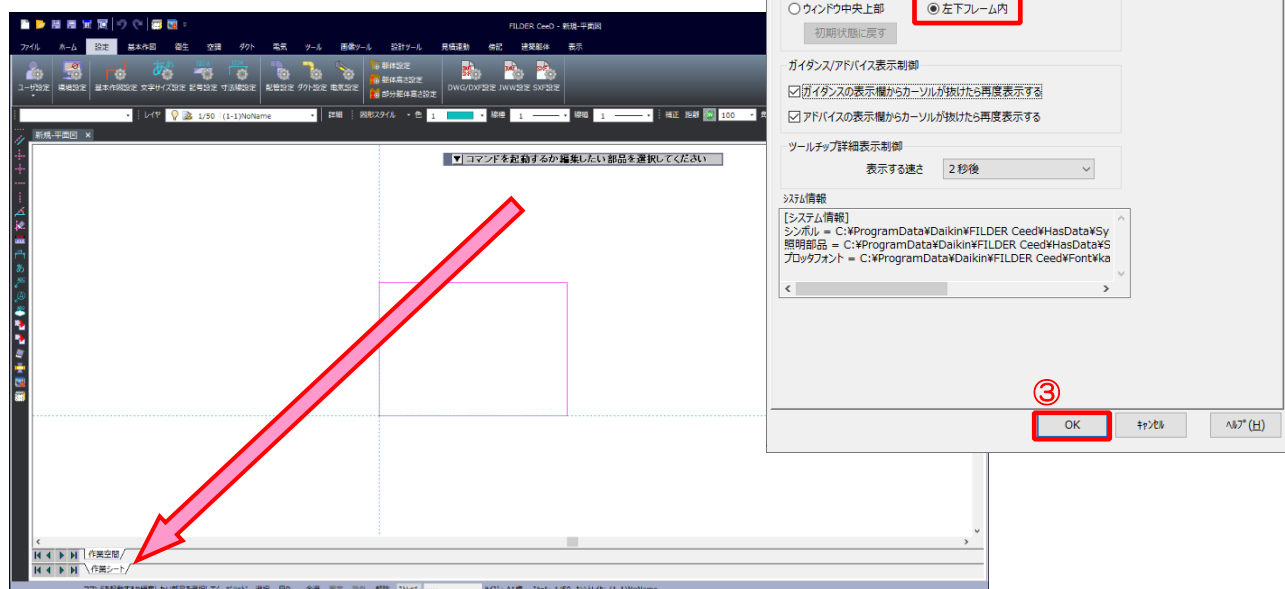
- ① [設定]-[環境設定]-[その他の色]
- ② [用紙]または[背景]の<・・・>ボタンをクリック
- ③ 色を選択
- ④ <OK>ボタンをクリック
- ⑤ <OK>ボタンをクリック



2) ガイダンス表示位置の変更

操作手順を確認するガイダンス表示の位置を設定します。

- ① [設定]-[環境設定]-[情報表示]
- ② [ガイダンス表示位置]の「左下フレーム内」にチェック
- ③ <OK>ボタンをクリック



3) 図形選択色の設定

図形を選択した時の色を設定します。

- ① [設定]-[環境設定]-[その他の色]
- ② [選択色]の<...>ボタンをクリック
- ③ 色を選択
- ④ <OK>ボタンをクリック
- ⑤ <OK>ボタンをクリック



電気の配線が赤で配置されるので、配線を配置される場合は、選択色を変更しておくことをお勧めします。



4) マウスホイールの設定

拡大表示、縮小表示の設定をします。

- ① [設定]-[環境設定]-[描画]
- ② 「マウスホイール設定」から選択
- ③ <OK>ボタンをクリック

「設定1」

前に回転で拡大表示・後ろに回転で縮小表示

「設定2」

前に回転で縮小表示・後ろに回転で拡大表示

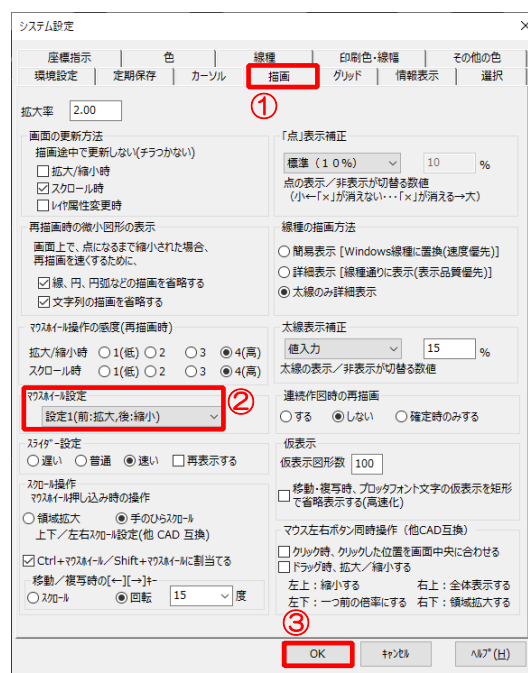
「設定3」

前に回転で拡大表示・後ろに回転で縮小表示・押下でコマンドキャンセル無し

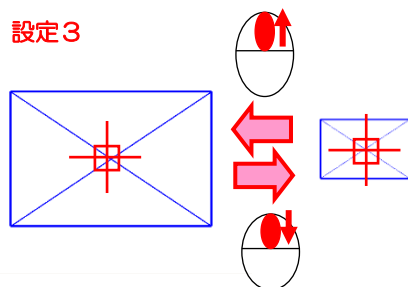
「設定4」

前に回転で縮小表示・後ろに回転で拡大表示・押下でコマンドキャンセル無し

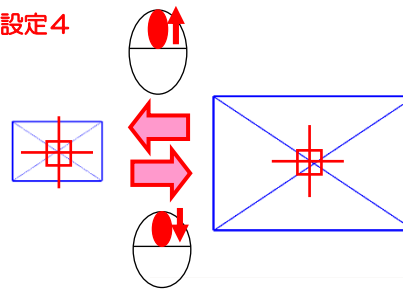
「マウスホイール押し込み時の操作」では、マウスホイールを押し続けた時に画面を自由に移動する（手のひらスクロール）か、マウスホイールを押して作成した領域を拡大表示する（領域拡大）か選択できます。



設定1、設定3



設定2、設定4



5) カーソルの設定

カーソルの形状を設定します。

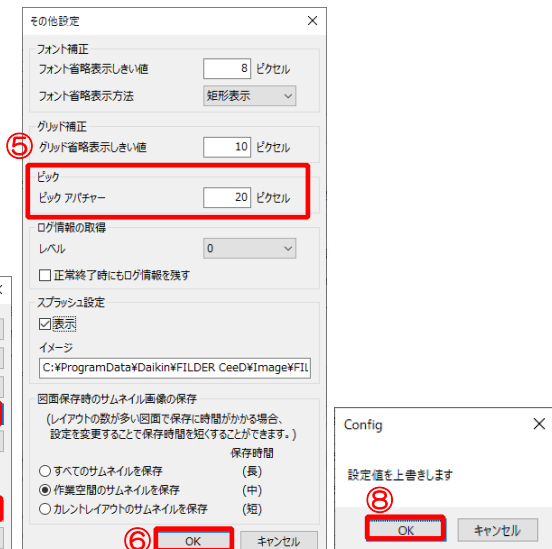
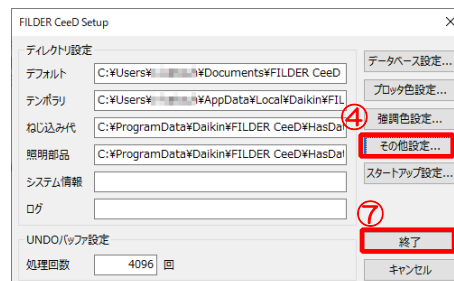
- ① [設定]-[環境設定]-[カーソル]
- ② 「カーソル形状」から選択
- ③ <OK>ボタンをクリック

カーソルの横に表示されている座標を非表示にする場合は「座標表示」の「なし」を選択します。



カーソルの大きさを変更します。

- ① FOLDER CeeD を終了
- ② Windows スタートをクリック
- ※ Windows11 の場合は「すべてのアプリ」をクリック
- ③ [FOLDER CeeD]-[Config]
- ④ <その他設定>ボタンをクリック
- ⑤ 「ピックアパチャー」に大きさをキー入力
- ⑥ <OK>ボタンをクリック
- ⑦ <終了>ボタンをクリック
- ⑧ <OK>ボタンをクリック



6) 確定の設定

マウスの右ボタンをクリックし、作図の確定/編集/選択の確定が行える設定を変更します。

- ① [設定]-[環境設定]-[環境設定]
- ② 「マウス右ボタンの動作の切替」から選択
- ③ <OK>ボタンをクリック

「常にショートカットメニューを表示」

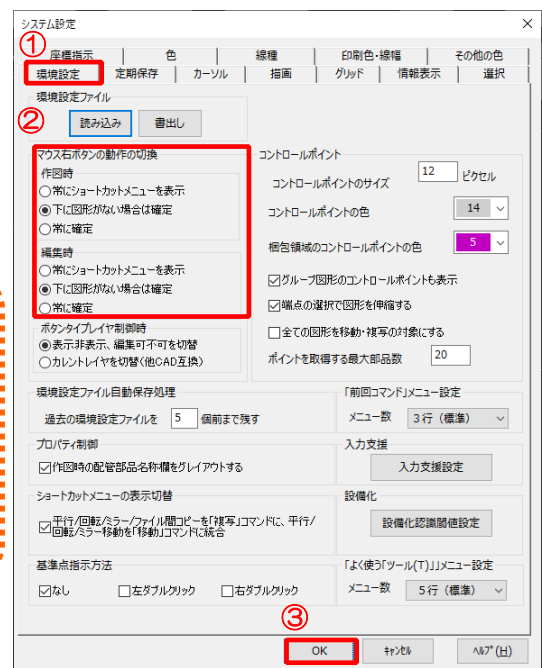
右クリックして表示したショートカットメニューから「確定」「ピック確定」を行う。

「下に図形がない場合は確定」

右クリックしたところに図形がない場合に、右クリックだけで「確定」「ピック確定」を行う。

「常に確定」

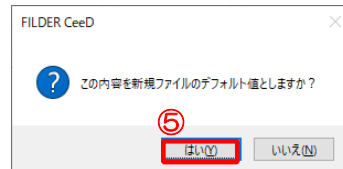
無条件で右クリックだけで「確定」「ピック確定」を行う。



7) デフォルト登録

設定した内容を、次にファイルを新規作成した際にも有効になるように登録します。

- ① [設定]-[環境設定]、[基本作図設定]、[文字サイズ設定]、[記号設定]、[寸法線設定]、[配管設定]、
[ダクト設定]、[電気設定]、[躯体設定]、[躯体高さ設定]
- ② 設定内容を変更
- ③ <デフォルト登録>ボタンをクリック
- ④ <OK>ボタンをクリック
- ⑤ <はい>ボタンをクリック



次にファイルを新規作成した際に有効です。
今まで作成したファイルには有効にはなりません。

ダイアログ内のタブごとに<デフォルト登録>
ボタンをクリックします。

